ぱーとな INFORMATION インフォメーション

Doctor's Introduction

耳原総合病院医師紹介

泌尿器科 沖　貴士

おき　たかし

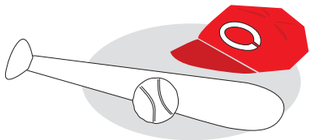
所属学会
日本泌尿器科学会
日本癌治療学会
日本尿路結石症学会

はじめまして、今年の4月より赴任となった耳原総合病院泌尿器科の沖貴士です。簡単な経歴としては、広島県出身で高校までは広島でした。大学から近畿大学医学部に入学し、近畿大学医学部附属病院にて初期臨床研修を2年間行いました。その後、近畿大学医学部附属病院泌尿器科に入局し、2年目で本病院に来ました。余談ですが広島出身なので、生粋のカープファンです。一番好きな選手は、昨年引退したのですが、緒方孝市です。

ここまでの経歴通り、僕は近大病院以外の病院で本格的に勤務をするのが初めてで、正直なところ緊張しています。しかし、大学で培ってきた力を発揮できる場として期待もしております。まあ、今は病気と闘っているというよりは電子カルテの操作方法と格闘していますが…

普段、患者様と出会う場所は外来でというのがほとんどだと思います。僕は外来では専門用語をなるべく使わずに分かりやすく説明していくよう心がけています。まだまだ勉強中の身で、これから学んでいくことのほうが多いと思います。

最後に、これから耳原総合病院での仕事を行っていくうえで、日々精進し診療を行ってゆき、患者様に「良くなったよ。ありがとう」と声をかけてもらえたらと考えております。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いします。



耳原総合病院 地域医療室

直通電話 072-241-0324
直通FAX 072-241-0208

■「診察・入院申込書」「検診申込書」をFAXいただくか、お電話でご予約をお取りいたします。
※折り返しFAXにて予約票をお送り致します。
■予約当日、患者様が受診の際
①保険証、②診療情報提供書、
③上記予約票をご持参いただきますようお伝えください。

日本医療機能評価機構 認定:2003年11月17日
nqa. ISO 9001 Registered 認定:2005年12月13日
UKAS QUALITY MANAGEMENT 015
vol.101 ぱーとな（7月号）
2010年7月10日発行
■発行人/松本 久　■発行/医療法人 同仁会 耳原総合病院 地域医療室
〒590-8505 大阪府堺市堺区協和町4丁465番地
TEL 072-241-0501（代表）　TEL 072-241-0324（直通）
URL http://www.mimihara.or.jp/sogo/

耳原総合病院の基本方針は
「すべての方に24時間365日、質の高い医療を地域と共に提供し続けること」です

ぱーとな

耳原総合病院機関紙
VOL.101
2010.7 July

耳原総合病院の理念

耳原総合病院はこんな医療をめざしています
♥安全、安心、信頼の医療
♥無差別、平等の医療
♥患者負担の少ない医療
♥地域とともに歩む専門職の育成

地域とともに 60年 ANNIVERSARY YEAR

泌尿器科

在宅・診察室での泌尿器科疾患に関する診察のポイント

先日の5月15日、リーガロイヤルホテル堺にて当院が年2回開催している【地域医療を勧める会】で、泌尿器科医以外の在宅医および開業医の先生方を対象として「在宅・診察室での泌尿器科疾患に関する診察のポイント」を発表させていただきました。
今回はこの発表内容の要旨を報告したいと思います。

耳原総合病院　泌尿器科 部長
田 原 秀 男
た　はら　ひで　お

正常の排尿機能とは

排尿機能は蓄尿機能と尿排出機能に分けることができます。蓄尿機能には、尿意を感じる・排尿をがまんできる・尿を漏らさない・膀胱内を低圧に保つといった働きがあります。このときには膀胱が弛緩している一方で、尿道括約筋が収縮しているといった現象が起きています。尿排出機能には、随意的に排尿できる・腹圧をかけずに勢いよく排尿できる・残尿なく排尿できるといった働きがあります。このときには膀胱が収縮している一方で、尿道括約筋が弛緩しているといった現象が起きています。排尿はこの膀胱の排尿収縮力と尿道抵抗のバランスによってなされており、このバランスが崩れた場合に排尿障害が発生してくることを理解しておく必要があります。

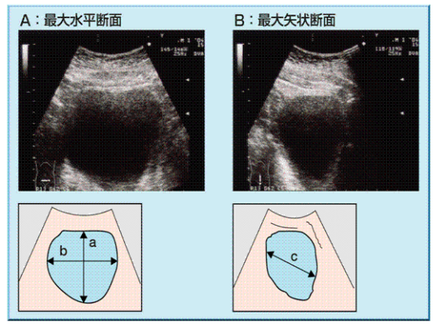
診察室での泌尿器科疾患に関するポイント

1.前立腺肥大症と過活動膀胱に関して

まず前立腺肥大症（以後BPHと略します）に関してですが、第一選択薬であるα-blocker剤の有効性が確立されており、内服により排尿状態の改善を認めます。しかし漫然と投薬治療を続けていいでしょうか？

ひとつは後述する前立腺がんが発生する可能性があること。もうひとつは高齢者疾患であるBPHは、経年的に前立腺体積が増加したり、加齢による排尿収縮筋力が低下することによって病状が進行し、残尿が発生する可能性があることを考慮しておく必要があります。この残尿量をチェックするには、排尿後に導尿を行うのが一番ですが、経腹的に膀胱エコーを行い簡易的に計測することができます。表１のように排尿後に最大水平断面および最大矢状断面で各計測値をチェックし、これらを掛け合わせたものが残尿量の簡易値として判断してよいのです。例えば各計測値が5cmであれば、5×5×5=125cm³となり、残尿量は少なくとも100ml以上であると判断してよいのです。

経腹的超音波断層法による残尿測定（表1）



（山口　侑、他:図説　下部尿路機能障害）